

患者さんへ

「末梢動脈疾患に対する Viabahn スtentグラフト＊ 留置後の再発病変における治療成績と関連因子の探索的評価」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

＊ Viabahn スtentグラフトは、細くなったり詰まったりした血管を内側から広げて血流を改善するための、金属製の筒状の医療機器です。血管の内側を覆うことで治療した血管が再び狭くなるのを抑える効果が期待されています。

1 研究の対象	2016 年 2 月より 2025 年 6 月までに札幌東徳洲会病院 循環器内科で、 下肢の動脈の病気に対して Viabahn スtentグラフトによる治療を受けた後に、治療した血管が再び狭くなったり詰まったりして、再度治療が必要となった患者さんを対象としています。
2 研究目的・方法	下肢の大腿動脈や膝窩動脈が狭くなったり詰まったりした場合の治療法の一つに、Viabahn スtentグラフトを用いた治療があります。しかし、この治療を受けた後に、治療した血管が再び狭くなったり詰まったりして、再度治療が必要になることがあります。そのような場合にはさまざまな方法で治療が行われますが、最も効果的な治療方法については、まだ十分に明らかになっていません。 この研究では、電子カルテから過去の診療情報を収集し、再治療を受けた患者さんの治療内容やその後の経過を調べます。そして、再び治療が必要となることを防ぐために、どのような患者さんや治療方法が良い結果につながるのかを明らかにし、今後のより良い治療に役立てることを目的としています。 研究の期間：施設院長許可（2026 年 9 月予定）後～2031 年 3 月 31 日
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、下肢の状態、内服薬 既往歴、合併症、病変性状、使用したカテーテルの種類、再発治療の病変の状態や画像所見 など
5 研究実施体制	[情報の提供を受ける機関] 大阪けいさつ病院 循環器内科 辻村 卓也 関西労災病院 循環器内科 畑 陽介 [情報を提供する機関] 研究代表機関：大阪けいさつ病院 循環器内科 飯田 修 松山赤十字病院 血管外科 山岡 輝年

研究機関名	研究責任者	研究機関名	研究責任者
東京慈恵会医科大学附属病院	大木隆生 小澤博嗣	新百合ヶ丘総合病院	金子健二郎
関西労災病院	畑 陽介	大阪けいさつ病院	飯田 修
済生会福岡総合病院	末松延裕	カレス記念病院	岩田周耕
市立札幌病院	鈴木理穂	札幌心臓血管クリニック	原口拓也
大垣市民病院	吉岡直輝	天陽会中央病院	竹井達郎
湘南鎌倉総合病院	宮下紘和	宮崎市郡医師会病院	緒方健二
大阪医療センター	山根治野	仙台厚生病院	堀江和紀
森之宮病院	福永匡史	洛和会音羽病院	柳内 隆
大阪府済生会中津病院	上月 周	近江八幡市立総合医療センター	深井邦剛
坂総合病院	佐々木伸也	福岡大学病院	杉原 充
船橋市立医療センター	岩田 曜	旭中央病院	早川直樹
京都第一赤十字病院	加藤 拓	下関市立市民病院	辛島詠士
淡海医療センター	岩崎義弘	済生会横浜市東部病院	毛利晋輔
総合東京病院	滝村英幸	名古屋ハートセンター	徳田尊洋
中部国際医療センター	山田雄大	福井大学医学部附属病院	佐藤裕介
大阪労災病院	野原大彰	奈良県立医科大学附属病院	市橋成夫
大阪赤十字病院	小林洋平、 高橋由樹	神戸市立医療センター中央市民病院	安積佑太
住友病院	永富 暁	愛知医科大学	児玉章朗
川崎医科大学附属病院	栗田 憲明	川崎医科大学総合医療センター	磯田竜太郎
九州大学病院	森崎浩一	札幌医科大学	柴田 豪
JA 広島総合病院	小林 平	十全記念病院	野村拓生
済生会八幡総合病院	郡谷篤史	松山赤十字病院	山岡輝年
東京都済生会中央病院	尤 礼佳	土谷総合病院	望月慎吾
市立函館病院	新垣正美	いわき市医療センター	山本義人
新東京病院	朴澤耕治	岸和田徳洲会病院	矢西 賢次
春日部中央総合病院	金子喜仁	札幌東徳洲会病院	細井雄一郎
東京科学大学	山本洋平	—	—

[外部への情報の提供]

当院の院長: https://www.higashi-tokushukai.or.jp/introduction/details/post_23.html

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

7 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 札幌東徳洲会病院 循環器内科 細井 雄一郎 住所: 札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号 電話番号: 011-722-1110(代表)
-----------	---

2026 年 8 月 24 日作成(第 1 版)